



オレンジ教室で学んだこと

瀬高小学校 三年 浦 心咲

みなさんは、「お年より」や「にんちしよう」について知っていますか。

じゅ業で行ったオレンジ教室で、

キャラバンメイトの方々に「にんちしよう」や「お年より」について教えていただきました。はじめ、わたしは、ろう人ホームにいる人や、つえを持つている人がお年よりだと思つていました。しかし、65才以上の人を

をお年よりとよぶことを知り、自分の思つていた「お年より」とちがうことに気づきました。お年よりは、目が見えにくくなつたり、耳がとおくなつたりするそうです。また、にんちしようになると、体験したことを忘れたり、ものわすれが多くなつたりするそうです。

お話の後でグループに分かれ、「にんちしようについてわかったこと」「にんちしようの人の気もち」「わたしたちにできること」をふせんに書き、大きな紙にはりました。はる場所がなくなるくらい、みんなでたくさん考えることができました。わたしは、もし、にんち

しようの人に会つたら、やさしく声をかけて、心を温かくしたいなと思いました。

オレンジ教室を通して、にんちしようの人の気持ちを考えることができました。キャラバンメイトの方々とお年よりやにんちしようをくわしく学ぶことができてよかつたです。

わたしは、オレンジ教室で学んでは、おじいちゃんとおばあちゃんに話すときに、声の大きさに気をつけて話すようになりました。前は、声の大きさに気をつけて話していなかったで、聞き返されるときがありました。でも、声の大きさに気をつけるようにしてからは、わたしの話したことがよく伝わるようになったので、たくさん話すことができるようになりました。おじいちゃんとおばあちゃんも楽しそうに話してくれるようになりました。とてもうれしいので、これからも続けていきたいと思っています。

【先生のコメント】

オレンジ教室を通して、認知症の方や高齢者の方の気持ちを考えることができましたね。相手のことを考え、相手のために自分に何かできることがないかを一生懸命考える心咲さんの心がすてきでした。

これから、心咲さんはいろいろな人と関わる機会が増えてくると思っています。出会う人一人一人に優しい心で関わり、相手のため、そして自分のためにできることを考え、たくさん成長してほしいと思います。

※オレンジ教室関連9ページ



心を動かす言葉



高田中学校 二年 新門 優奈

近年、SNSは簡単に使える便利なツールになっています。自分の気持ちを投稿したり、友達の写真や面白い動画を見たりして毎日使っている人も多いと思います。

私もその一人で、よくティックトックやインスタグラムを見たり、投稿したりしています。

しかし、SNSは楽しいことばかりではなく、悲しくなる時もあります。ある日、SNSを開いていると、「あれ、これって私のことかな」と感じる少しヒヤッとする一言がありました。私と似た状況を書いただけなのかもしれませんが、たった一言で、ものすごく不安な気持ちになりました。

SNSは、言葉が画面に文字として出るだけで、声のトーンも表情もありません。そのため、ほんの少しの違いで相手を傷つけてしまうことがあります。投稿者にそんなつもりがなくても、受け取る側の捉え方によつては傷ついてしまうこともあります。「これくらい大丈夫」と

軽い気持ちで書いたことが、誰かを嫌な気持ちにしています。

しかし、温かい気持ちになることもあります。コメント欄の「元気をもらえました」という知らない誰かの言葉から私も元気をもらいました。言葉の内容によって心が温かくなつたり、傷ついたりするSNSは、とても強い力を持つているのだと改めて思いました。

一人ひとりが大切にされ、安心して生活できることが、お互いの人権を尊重することです。これは、SNSの世界でも同じです。画面の向こう側には「相手」がいて、その人にも心があります。そのことを忘れて軽い気持ちで行動するのではなく、相手の心を考えることが必要です。

私は、これからSNSを使う時には、「誰も傷つけないかな」「この言葉で嬉しくなる人はいるかな」と考えてから使おうと思っています。言葉は、武器にも誰かを助ける薬にもなります。お互いの人権を大

切にして、誰もが安心して生活できる優しい社会をつくれるように、私も考えて行動したいです。

【先生のコメント】

現代社会において、SNSはとても身近なものになりました。便利なものである反面、誹謗中傷など悲しい事件が多く起こっているのも事実です。優奈さんは、身近な問題に目を向け、自分のこととして考えることができました。

優奈さんも言っているように、画面の向こう側には「相手」がいることをもう一度意識し、確認すること、悲しい思いをすることも減るのではないでしょうか。温かい言葉があふれる社会にしていきたいでしょう。



人権擁護委員による人権相談(無料)
ひとりりで悩んでいませんか?

【特設人権相談所】

■日時 2月18日(水) 13時～16時
■場所 あたご苑
■相談内容 いじめ、体罰、部落差別、女性差別、外国人の問題、家庭内(夫婦、親子、結婚、離婚、扶養、相続など)、借地借家、相隣間のもめ事や悩み事など

【女性相談所】

■日時 2月12日(木) 10時～15時
■場所 福岡法務局柳川支局
■相談内容 原則として女性からの相談(夫やパートナーからの暴力、職場などでのセクハラ、パワハラおよびストーカー行為など)
※女性の人権擁護委員が相談に応じます。

【常設人権相談所】

■時間 8時30分～17時15分
(土、日、祝日を除く)
■場所 福岡法務局柳川支局
■相談担当者 法務局職員、人権擁護委員
■相談電話番号 (TEL) 0570・003・110
■福岡法務局柳川支局 (TEL) 72・2640

みやま人権デーを開催します

■日時 2月7日(土) 14時(13時30分開場)
■場所 まいピア高田
■内容

【ステージイベント】

▼第一部 小中学生人権作文発表
▼第二部 みやまヒューマンライツシネマ
「ぼくが生きてる、ふたつの世界」
監督…呉美保 主演…吉沢亮



【フロアイベント】

▼令和7年度小中学生人権作文コーナー
▼「ぼくが生きてる、ふたつの世界」コーナー
▼手話を学ぶコーナー
▼チャレンジクイズコーナー
▼くすつピーグリーディング 他

来場者全員に
人権グッズなど
プレゼント



■申し込み不要
■手話通訳あり
■託児あり(要予約)
2月3日(火)までに社会教育課人権・同和教育係へ申し込みください

■社会教育課人権・同和教育係
(TEL) 32・9184